

<https://www3.nhk.or.jp/news/oita/20200924/5070008063.html>

学部長選考で見直し求める声明文

NHK 大分 09月24日 18時28分

大分大学で経済学部の学部長選考をめぐる、学長と教授会が対立していた問題について、全国の法学研究者らが「学長が独断で人事を強行したものであり、大学の自治に反する行為だ」として大学の運営を見直すよう求める声明文を出しました。

この声明文は、元大分大学の教員で関西学院大学の永田秀樹名誉教授ら7人の憲法学者が、全国の法学研究者合わせて85人の賛同を得て24日会見で発表しました。

大分大学では去年経済学部長が交代する際、教授会が候補者を選挙で選んだものの、北野正剛学長が推薦資料の受け取りを拒否し、別の教授を新しい学部長に任命しました。

これについて声明文では「学長が独断で人事を強行したものであり、大学の自治に反する行為だ」として、大学の運営を見直すよう求めています。

永田名誉教授によりますと、大分大学では学部長を選考する際、学長が学部長または職員に意見を聞く手続きをとることが、規定で決められているということです。

永田名誉教授は会見で「学長の独断が通る状態が続けば、大学で自由に学問を行うことができなくなってしまうおそれがある」と話していました。

大分大学は「大学としては手続きに問題はなかったと考えており、コメントはない」としていません。

西日本新聞 9.25

大分合同新聞

9.25

「憲法で保障する大学の自治を否定」

大分大に法学研究者ら92人 学部長選考など批判



大学運営の改善を求めて声明を発表する関西学院大の永田秀樹名誉教授（中央）ら＝24日午前、県庁

大分大（北野正剛学長）の経済学部長と医学部教授選考に關し、全国の法学研究者らが24日、大学運営の改善を求める声明を出した。

「学部要項とその運用は大学規定に抵触する」と答申し、学部は要項を廃止した。医学部教授選考では学長の不当な介入があったとして、教授に選ばれなかった男性准教授が1月、県弁護士会に人権救済を申し立てた。

元大分大教授の永田秀樹（関西学院大名誉教授（憲法））や大学自治などの研究を専門とする中富公一（広島修造大教授（同））ら7人が呼び掛け人となり、全国の法学研究者85人が賛同した。18日に文書で大分大学長室に郵送した。

県庁で会見した永田名誉教授は「憲法で保障されている大学の自治が否定される由々しき事態で、見逃すことはできない。多くの人が関心を持ってもらいたい」と述べた。（八坂啓佑）

法学研究者92人が 大分大学長を批判

学部長選考問題で声明 大分大の経済学部長や医学部教授の選考で、学部側学長が任命したのを巡り、本にあり、守られ続けな

否定して人事を強行し、大学の自治を内部から揺るがす事態」と指摘。呼び掛け学部長は「教授会が推薦資料の受け取りを拒否し、別の教授を新しい学部長に任命した。これについて声明文では「学長が独断で人事を強行したものであり、大学の自治に反する行為だ」として、大学の運営を見直すよう求めています。」

永田名誉教授によりますと、大分大学では学部長を選考する際、学長が学部長または職員に意見を聞く手続きをとることが、規定で決められているということです。永田名誉教授は会見で「学長の独断が通る状態が続けば、大学で自由に学問を行うことができなくなってしまうおそれがある」と話していました。

大分大学は「大学としては手続きに問題はなかったと考えており、コメントはない」としていません。

名で24日、批判する声明を発表した。 声明では「教授会自治に基づき従来学内ルールを基

「学部要項とその運用は大学規定に抵触する」と答申し、学部は要項を廃止した。医学部教授選考では学長の不当な介入があったとして、教授に選ばれなかった男性准教授が1月、県弁護士会に人権救済を申し立てた。

元大分大教授の永田秀樹（関西学院大名誉教授（憲法））や大学自治などの研究を専門とする中富公一（広島修造大教授（同））ら7人が呼び掛け人となり、全国の法学研究者85人が賛同した。18日に文書で大分大学長室に郵送した。

県庁で会見した永田名誉教授は「憲法で保障されている大学の自治が否定される由々しき事態で、見逃すことはできない。多くの人が関心を持ってもらいたい」と述べた。（八坂啓佑）

（吉村次郎）